



元気いっぱい やる気いっぱい 笑顔いっぱい

せのうえ

瀬上小学校だより

令和6年2月21日(水)
第23号(地域回覧版)
文責:校長 高橋哲也

学校評価アンケートの結果から

2学期末には、学校評価アンケートへのご協力をいただきまして、ありがとうございました。おおよその結果を一覧表にまとめました。

4段階での評価でしたので、それぞれの項目の
平均値を求め、右のように表しています。

1	2	3	4
C	B	A	

No	項目	保護者	教職員	児童
1	自分から学習に取り組み、知識を身につけようとしたり、何かをできるようになろうとした。	A	A	A
2	友だちと学び合い、学習の内容を深めようとした。	A	A	↑A
3	自分から進んで本を読んだ。	B	B	A
4	自分も友だちも大切にしようとし、行動することができた。	A	B	A
5	「自分にはよいところがある。」「自分は役に立っている。」と感じた。	A	B	A
6	親切、思いやりの気持ちを発揮したり、規則を尊重したりできた。	A	↑A	A
7	めあてをもって根気強く運動に取り組むことができた。	A	A	A
8	生活チェック表をもとに、基本的な生活習慣を守ることができた。	B	A	A
9	自分の命を守る行動をとることができた。	A	A	A
10	学校生活が楽しい。	A	A	A
11	子どもは、自分の学級が楽しいと話している。	A	/	/
12	子どもは、授業が分かりやすいと話している。	A	/	/
13	学校は、新型コロナウイルス感染症の予防・拡大防止策を徹底していた。	A	A	/
14	学校は、生徒指導・人権教育の徹底を図りながら、児童一人ひとりを生かす教育活動を行っていた。	A	A	/
15	学校は授業を充実させ、学力の向上を図った。	A	A	/
16	学校は体育指導を充実させ、運動能力と体力の向上を図った。	A	A	/
17	学校は、不登校・いじめへの適切な対応や指導を組織的に行った。	A	A	/
18	学校は図書館教育を充実させ、読書に親しむ態度を育成した。	A	A	/
19	学校は安全指導・安全管理を徹底して、学校事故防止に努めた。	A	↓A	/
20	学校は家庭や地域と連携し、地域とともにある学校づくりに努めた。	A	A	/
21	教職員は協働性・同僚性を発揮し、法令遵守の意識を強くもって職務にあたっていた。	A	A	/
22	学校は、教育方針・学校の様子等をわかりやすく伝えていた。(学校要覧 ポータル 通信)	A	A	/
23	学校は、一人ひとりに居場所のあるあたたかい学級づくりに努めていた。	A	A	/
24	教職員は子どもを理解し、適切に指導にあたっていた。	A	↓A	/

○：平均値が高めの項目 ◯：平均値が低めの項目 ↑：1学期から上昇 ↓：1学期から下降

評価の平均値が2を下回る項目はなく、ほとんどの項目で3以上の評価をいただきました。

- 「学校生活が楽しい」「学級が楽しいと話している」の項目に、子どもたちや保護者の皆様の高い評価が得られたことは、とてもうれしいです。今後も楽しい学校、学級づくりを進めます。
- 課題となる項目は No.3(読書の推進)、No.4(人権教育の充実)、No.5(自己肯定感,自己有用感の育成)の3つです。次年度も教育活動の重点として取り組みます。

※ 自由記述への回答につきましては、学校だよりNo.19(12/20)をご覧ください。

今回の評価結果から、保護者の皆様の学校に対する期待の大きさやあたたかい応援の気持ちを実感することができました。

私たちの責任の大きさを再確認し、卒業、修了までの残された日々、全力で子どもたちを支えていきます。今後とも、どうぞよろしく願いいたします。